

薬剤部

【薬剤師外来】

2024 年度診療報酬改定で「がん薬物療法体制充実加算」が新設されました。医師の診療前におこなう「薬剤師外来」を評価した加算です。薬剤師が患者の服薬状況や副作用発現状況等について確認し、医師に情報提供や処方に関する提案を行うものです。当院においてもがん薬物治療の更なる向上を目指して薬剤師外来を実施しています。

【長期収載品の選定療養扱い】

10 月から、患者が「後発医薬品でなく先発品（長期収載品）を使いたい」と希望した場合には、両者の差額の 4 分の 1 を患者自身が負担する仕組み（選定療養）が導入されました。混乱を心配しましたが、これまで大きな問題は生じずに推移しています。

【薬剤管理指導の効率化】

病棟での薬剤管理指導業務の増加に取り組みました。年度当初は 200 件台/月だったものが、年度後半には 400 件/月前後の件数まで伸ばすことができました。

【医薬品供給の停止・遅延・出荷調整等】

医薬品供給問題は引き続き生じています。各種抗菌薬、ソルダクトン静注用 100mg、ソル・コーテフ注射用 100mg、献血ヴェノグロブリン IH 静注製剤等で製品の確保に難渋しました。

【薬学生教育】

今年度は〔Ⅲ期〕8 月 19 日～11 月 3 日に 1 名(横浜薬科大学)、実習生を受け入れました。

【薬事委員会】

	内服剤	外用剤	注射剤	合計
新規採用薬品	16	3	17	36
仮採用薬品	0	0	0	0
院外採用薬品	2	4	7	13
削除薬品	16	7	21	44
後発医薬品への切り替え	20	4	4	28

無菌製剤処理業務

【外来】 外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)(700点/件・月3回まで) ※6月から800点/件に改定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	104	115	110	108	102	92	121	106	118	109	97	79	1,261

外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)(450点/件・4回以降)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
			1	1	2	1	3	3	2	2	1	0	16

外来化学療法加算1(抗悪性腫瘍剤以外の薬剤を注射した場合)(450点/件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	11	16	12	15	14	14	13	14	16	14	11	14	164

無菌製剤処理料1(180点/件)(閉鎖式接続器具使用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6	4	4	4	3	10	8	7	5	5	8	8	72

無菌製剤処理料1(45点/件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	117	127	122	119	109	93	127	115	122	115	98	87	1,351

【入院】

無菌製剤処理料1(180点/件)(閉鎖式接続器具使用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	1	2	2	2	5	4	1	1	18

無菌製剤処理料1(45点/件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	27	20	9	17	12	18	23	25	18	20	21	21	231

無菌製剤処理料2(40点/件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	60	98	41	78	65	55	93	104	85	61	30	129	899

【薬剤管理指導業務】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
薬剤管理指導料1(件数)(380点)	140	135	131	140	106	120	184	176	192	175	190	144	1,833
薬剤管理指導料2(件数)(325点)	123	138	141	155	135	122	171	217	242	230	229	192	2,085
麻薬加算(件数)(50件)	2	7	9	15	12	9	4	14	11	9	8	12	112
退院指導加算(件数)(90点)	0	36	39	41	33	37	51	59	71	49	67	56	539

がん患者指導管理業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
がん患者指導管理料3(200点/回)	8	7	4	7	3	10	1	10	4	6	5	11	76
連携充実加算(件数)(150点/月)	64	69	75	69	62	57	67	62	67	63	63	55	773
がん薬物療法体制充実加算(100点/月)			9	11	12	8	12	14	11	13	9	13	112

【薬剤情報提供料（10点/件）】 ※6月から4点/件に改定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
634	695	607	655	669	596	647	610	725	669	540	586	7,633

【外来及び入院調剤業務】

月別処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来（院内）	1,271	1,292	1,150	1,318	1,212	1,138	1,200	1,122	1,293	1,244	951	1,077	14,268
入院	3,078	3,368	2,824	3,289	3,080	2,969	2,102	3,135	3,501	3,188	2,996	3,286	36,816

【診療科別処方箋枚数】

	内科	小児科	外科	脳外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	精神科	歯科	放射線科	人工透析	麻酔科	リハビリ	合計
外来（院内）	6,374	1,009	456	224	308	90	115	832	926	236	103	165	0	3,413	17	0	14,268
外来（院外）	32,958	2,426	3,004	3,227	3,498	1,151	1,895	4,438	6,832	8,394	6	1,413	0	0	440	0	69,682
入院	17,028	759	2,349	2,335	2,237	28	480	9,791	553	2,096	9	19	0	125	7	0	37,816
																	15,663
																	74,006
																	40,385

【院内医薬品集発行】

紙媒体から電子カルテ上で閲覧できる形式に変更し、薬事委員会毎に更新しています。

【長期実務実習生の受け入れ】（11週間）

Ⅲ期（8月19日～11月3）：1名（横浜薬科大学） 合計1名の学生を受け入れました。

【各種委員会活動】

薬事委員会、衛生委員会、医療安全委員会、化学療法委員会、感染対策委員会、抗菌薬適正使用支援チーム、接遇委員会、システム委員会、診療記録委員会、院内教育委員会、院内教育委員会、褥瘡委員会、NST委員会、適切なコーディングに関する委員会、広報戦略会議、腎臓病教室検討会議、心臓リハビリテーション会議、ACP(WG)、DCT等に参加し活動しました。

【発表】

院外講演

開催日	演者	会場	対象	演題
2024.4.20	片野 寛子	長岡中央総合病院	日本農村医学会新潟地方会第73回例会	「FLS 薬剤部の取り組みと今後の課題」